

## 下水道 GX の取り組みについて

### 1. はじめに

恵庭市は、2022年6月、脱炭素社会の実現に向けて、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言しました。

下水終末処理場は、当市施設の中でも多くの電力を消費する施設であり、率先して温室効果ガスの排出量を削減するため、処理場内の未利用地等を活用し、民間活力による発電事業により、温室効果ガスの削減を目指す取り組みを進めるため、事業者を公募し候補者選定を行いました。

### 2. 公募型プロポーザルの実施概要

(1) 事業名 恵庭下水終末処理場オンサイト PPA 事業

#### (2) プロポーザル実施期間

- ・参加表明期間 令和5年11月24日～令和5年12月25日
- ・提案書の受付 令和5年12月22日～令和6年3月8日
- ・プレゼンテーション 令和6年3月19日
- ・候補者選定結果通知 令和6年3月26日

(3) 参加者表明書提出者 3者

#### (4) 主な評価項目

確認事項	主な評価内容
技術提案内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温室効果ガスの削減効果</li> <li>・事業の実現性及び信頼性、周辺環境の影響など</li> </ul>
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工体制、スケジュール、維持管理体制の妥当性</li> <li>・事業実施中のリスク対応、市内企業の関与など</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの類似事業の実績など</li> </ul>
経済性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気単価、収支計画の妥当性</li> </ul>
その他独自提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域特性、電力需要、イメージアップ等を踏まえた創意工夫提案</li> </ul>

GX(グリーントランスフォーメーション) ～ 温室効果ガスの排出原因となっている化石燃料などから、太陽光発電などの再生可能なエネルギーに転換して、経済社会システム全体の変革を目指すこと

### 3. 事業者選定の結果

優先候補者 仮称 C社  
 計画発電量 約 27 万 kwh/年  
 (年間使用量の約 9%)  
 CO2 削減量 約 150t-CO2/年



### 4. スケジュール(予定)

令和6年 7月 基本合意書締結済み  
 9月頃 本契約（補助金の導入等を考慮、電気単価算出後）  
 10月以降 工事实施  
 ※令和7年度末までに発電事業の開始を目指す。

恵庭下水終末処理場 太陽光パネル設置計画

